

# 猫のワクチンについて



室内飼いたけど  
ワクチンって必要?



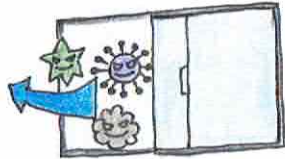
ワクチンで予防出来る  
感染症は?



ワクチンの種類って?

ずっと室内飼いの場合  
ウイルスに触れる機会は少ないですが  
感染リスクはゼロではありません。

主な感染ルートとして……



## ① 空気感染

ウイルスを含んだ唾液や排泄物が  
乾燥し空気の流れて広範囲に広がる。

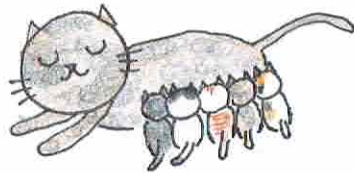
## ② 飼い主からの感染

ウイルスの付着した靴や服などから  
室内に運び入らせてしまう。



## ③ 母子感染

母猫がウイルス感染していた場合、胎盤や  
母乳から感染することがある。



① 猫ウイルス性鼻気管炎  
くしゃみ、発熱、下痢、食欲不振など  
いわゆる風邪のような症状。

② 猫カリシウイルス感染症  
複数の型があり、症状もそれぞれ  
異なる。

③ 猫汎白血球減少症  
「猫パルボ」とも呼ばれます。  
感染力が非常に強い胃腸炎。  
激しい嘔吐、下痢、高熱などの症状。  
\*子猫の場合重症化しやすい

④ 猫白血病ウイルス感染症 (FeLV)

⑤ 猫クラミジア感染症  
結膜炎、涙目、目やに、くしゃみなどの症状。  
病気が進行すると咳をするようになり、肺炎を  
起こしてしまうこともある。

\* ④は過去のフルボ-パー-に少し  
書いています☺ぜひご覧下さい



★ 室内飼いの場合は「3種混合」

①、②、③の3種は感染力が強く  
空気感染の恐れがあるため  
完全室内飼いでモワクチン接種が  
推奨されています。

★ 外出する子には「4種混合」  
「5種混合」

● ワクチンは一時的に軽微感染状態  
にして免疫力を付けるため、個体本に  
よっては体調不良やアナフィラキシーショック  
を起こすこともあり得ます。

ワクチンで予防出来る感染症も  
ありますが、100%ではありません。  
副反応を起こす子もいます。

メリット、デメリットを考え  
どちらが自分の子にとって  
良いのか、獣医さんやご家族と  
相談して決めてあげて下さいね。

